

令和5年度

事業報告書



社会福祉法人きらめき会

特別養護老人ホーム 八潮いこいの里
小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里
特別養護老人ホーム 若葉いこいの里

1. はじめに

=====法人理念=====

笑顔

「利用者様への笑顔」 「ご家族様への笑顔」
「地域への笑顔」 「自分への笑顔」

=====ビジョン=====

「地域を笑顔にする」

地域の人と

コミュニティを構築し
地域に愛される施設を目指す

=====運営方針=====

- 一. 基本に忠実であること
- 一. 積極的に物事を考える事
- 一. 心のこもった行動をすること

■法人事業概要

◇事業所名

特別養護老人ホーム 八潮いこいの里
〒340-0824 埼玉県八潮市垢 526-1

◇事業開始日

平成 30 年 4 月 1 日

◇事業内容

介護老人福祉施設 定員：従来 30 名 ユニット 90 名 計 120 名
短期入所生活介護（空床利用）

◇事業所名

小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里
〒245-0015 神奈川県横浜市泉区中田西 4 丁目 2 番 43-2

◇事業開始日

平成 22 年 4 月 1 日

◇事業内容

小規模多機能型居宅介護
登録定員：29 名（内通所：17 名 泊り：8 名）

◇事業所名

特別養護老人ホーム 若葉いこいの里
〒264-0021 千葉県千葉市若葉区若松町 531-156

◇事業開始日

令和 3 年 4 月 1 日

◇事業内容

介護老人福祉施設 定員：80 名
短期入所生活介護 定員：20 名 合計：100 名

◇事業所名

特別養護老人ホーム 横浜旭いこいの里
〒240-0012 神奈川県横浜市旭区西川島町 118 番 13 他 20 筆

◇事業開始日

令和 7 年 5 月 1 日 開所予定

◇事業内容

介護老人福祉施設 定員：200 名
短期入所生活介護 定員：20 名 合計：220 名

2. 令和5年度 事業報告について（1年を振り返って）

はじめに、社会福祉法人きらめき会を温かく見守り、支えていただいております皆様から御礼を申し上げます。令和5年度の事業報告書がまとまりましたので、ここにお届けいたします。

新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」に引き下げられました。厳格な対策を可能とする「2類相当」感染症として全数把握されてきた感染者数が、全国約5000の医療機関による定点把握になるなど、コロナ対策を取り巻く環境が大きく変化いたしました。地域の感染動向がつかみにくくなる中、重症化リスクが高い入居者を守るために、どう対応すべきか。当法人としては、他施設や関係各所との連携を深め、効果的かつ持続可能な感染対策を実施していくための体制づくりを実践してきました。今後も必要な感染対策を続けてまいります。介護職員の負担軽減や人材育成については、コロナ禍前の水準よりも積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

そして、日本経済はウクライナ情勢や円安の影響で、急速に物価高が進行しており経営に大きなインパクトをもたらしています。水道光熱費や食材料費、介護資材も上昇を続けています。無駄を減らし、省コスト対策等を実施し安定した経営を行なっていく所存です。

また、横浜市で進めている特別養護老人ホームの計画については、2024年3月に着工となり、2025年5月末に竣工・同年6月に開所する予定です。施設の敷地内にドッグランの整備・施設でペットを飼いアニマルセラピーの実施・職員がペットと一緒に出勤できるペットユニットの実施、職員のためのリフレッシュルームの整備等、新たな取り組みに挑戦して参ります。加えて、ベトナムにて現地の市場調査、情報収集やネットワーク構築する中で、日本の介護に対する関心と期待を感じ、ベトナムの事業に関して、大きなビジネスチャンスがあると判断。ベトナムの企業のパートナーと共同でベトナムハノイ市に老人ホームの開設を目指します。

現状維持を常に疑い、リスクを恐れず常にチャレンジし続けることで、大きな成長につながります。今までの経験にとらわれず、スピードを意識し、緊張感を持って経営にあたる覚悟です。

令和6年4月

社会福祉法人きらめき会
理事長 久岡 重樹

特別養護老人ホーム 八潮いこいの里

1. 職員状況

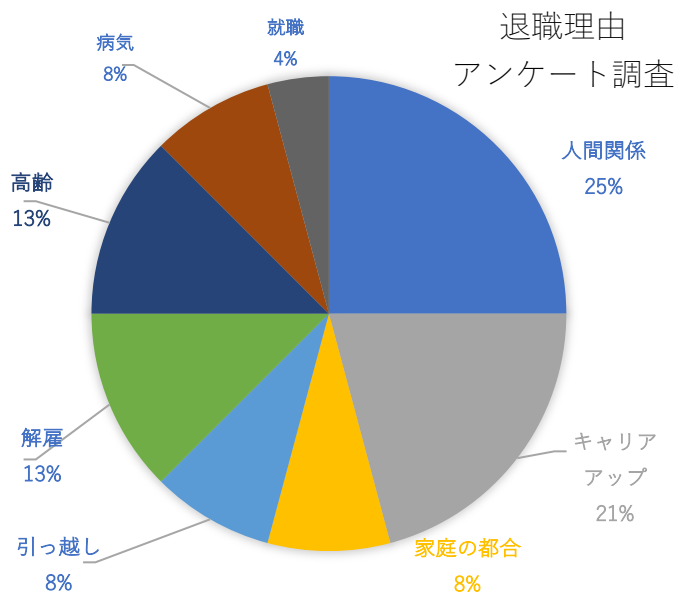
(R6.3.31 現在)

	施設長	事務長	副施設長	介護支援専門	生活相談員	管理栄養士	機能訓練指導	看護師	介護職員	事務員	フリー夜勤	清掃員	合計
職員数	1	0	0	3	3	2	3	5	74	4	2	3	100

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

令和5年度職員雇用推移 ※R6.3.31 職員在籍数⇒100名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	採用者数	2	2	1	1	6	2
	退職者数	3	1	0	3	0	0
非常勤	採用者数	3	0	1	4	1	1
	退職者数	0	1	0	0	1	0
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	採用者数	2	1	0	4	2	1
	退職者数	0	0	0	3	3	1
非常勤	採用者数	1	0	2	0	1	0
	退職者数	0	0	2	2	2	1



		合計
常勤	採用者数	24
	退職者数	14
非常勤	採用者数	14
	退職者数	9
離職率	起算日 (R6.3.31 現在) ※常勤職員で計算	23.0%

■ 総評

昨年度とほぼ同様の離職率となっている。介護士、看護師の採用者が大きく増えた。今年度は常勤の介護士に加え、朝、昼の食事介助、入浴の専門パートを導入した。年度の前半は特定技能の職員の採用が続いたが、年度の後半は日本人の介護福祉士の入職が続いた。前年度以前より、職務内容や素行に問題があった職員の退職を進めた。

看護師は年度の前半は退職が続いたが、後半は正職員での入職が続き、落ち着いている。

介護士、看護師の人材紹介や派遣は10月を最後に利用していない。

機能訓練指導員、介護支援専門員・生活相談員は充足しており、変化はない。

教育を専門に行うユニットを導入し、介護未経験の職員を配属し、統一したケアを教える体制作り、既存職員の基本的な介護技術を一つ一つ見直し、指導を行うことで、ケアの統一をはかる体制作り、合わせて八潮いこいの里全体共通の介護マニュアル作りを進めている。

2. 会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	施設長/役職者	12回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
リーダー会議	役職者/ユニットリーダー	12回/年	・役職者からの連絡事項 ・ディスカッション ・各専門職からの連絡事項 ・経営会議決定事項の周知
ユニット会議	ユニットリーダー/介護職員	12回/年	・ユニットの問題定義・解決案 ・ユニット推進のための勉強会 ・24時間シートの作成
給食会議	役職者/ユニットリーダー	12回/年	・委託業者の責任者を交えた問題定義・解決案 ・介護現場との連携確認
ケアマネ相談員会議	役職者/ケアマネ・相談員	12回/年	・入居状況や入院者の確認 ・現状課題の検討 ・待機者の確認 ・営業状況の確認
医務会議	役職者/看護職員	12回/年	・医務の中での問題定義・解決案 ・業務改善策の模索

委員会	実施状況	内容
入所判定委員会	12回/年	サービスを受ける必要性が高いと認められる者を優先的に入居させるために、入居決定過程の透明性・公平性を確保し判定を行う。
事故防止検討委員会	12回/年	事故報告、ヒヤリの件数周知。再発防止のため事例検討会を行う。
褥瘡予防・感染予防委員会	12回/年 +随時	褥瘡ができるまでの原因を探り、ブレイデンスケールを行う。 感染症及び食中毒予防蔓延防止のために研修や勉強会を行う。 コロナの感染対策のため、随時開催をした
ケア向上委員会	12回/年	入居者へのケアを見直し、検討・実践行う。
サービス向上委員会	12回/年	施設全体行事や、クラブ活動の立案・実践を行う。
ユニット推進委員会	12回/年	ユニットを推進するための勉強会や24時間シートの作成を行う。
衛生管理委員会	12回/年	職員健康管理やストレスチェック行い健康推進を行う。
防災委員会	12回/年	災害時の対応確認。災害をシュミレーションし職員連絡網作成。
身体拘束適正化・高齢者虐待防止委員会	5回/年	どんなことが拘束になるのか。再復習と共通認識を図った高齢者虐待のマニュアル作成。委員会内の勉強会の開催

■スキルアップ（内部）研修の開催

4月	倫理・虐待、誤薬
5月	オムツ研修
6月	虐待に関する外部研修報告会
7月	コロナ感染症対策
8月	事故とヒヤリハットの区別
9月	身体拘束とは

10月	移乗介助
11月	エンゼルメイク
12月	嘔吐処理
1月	ポジショニング
2月	事故報告書・ヒヤリハットの書き方
3月	身体拘束・虐待防止

■外部研修・セミナーへの参加

4月	
5月	
6月	虐待防止に関するオンライン研修
7月	
8月	
9月	

10月	
11月	
12月	
1月	介護報酬説明会
2月	
3月	虐待防止に関するオンライン研修

3. 行事・レク

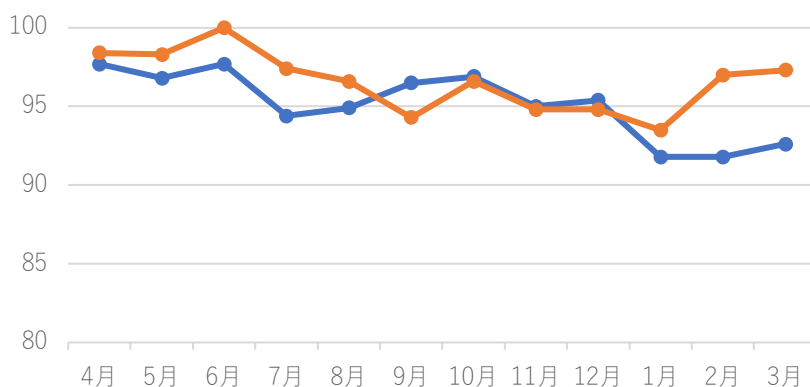
4月	
5月	ちらし寿司作り
6月	
7月	
8月	花火レク
9月	敬老会
10月	ケーキ工場直売、コスモス狩り、ハロウィン、八潮市民祭り参加
11月	ミニ運動会
12月	クリスマス会
1月	初詣、施設内で参拝
2月	小学校との交流会
3月	お花見

4. 実績報告

■稼働率推移・・・安定した経営を目指すため、年間常時 98%以上

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
ユニット (定員:90名)	延べ日数	2638	2701	2638	2634	2649	2608
	稼働率	97.7%	96.8%	97.7%	94.4%	94.9%	96.5%
従来 (定員:30名)	延べ日数	886	915	900	906	899	849
	稼働率	98.4%	98.3%	100%	97.4%	96.6%	94.3%
全体合計	稼働率	97.8%	97.2%	98.2%	95.1%	95.3%	96.0%
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
ユニット (定員:90名)	延べ日数	2705	2565	2664	2563	2398	2586
	稼働率	96.9%	95.0%	95.4%	91.8%	91.8%	92.6%
従来 (定員:30名)	延べ日数	899	854	882	870	844	905
	稼働率	96.6%	94.8%	94.8%	93.5%	97.0%	97.3%
全体合計	稼働率	96.8%	94.9%	95.3%	92.2%	93.1%	93.8%

(参考) 稼働率推移

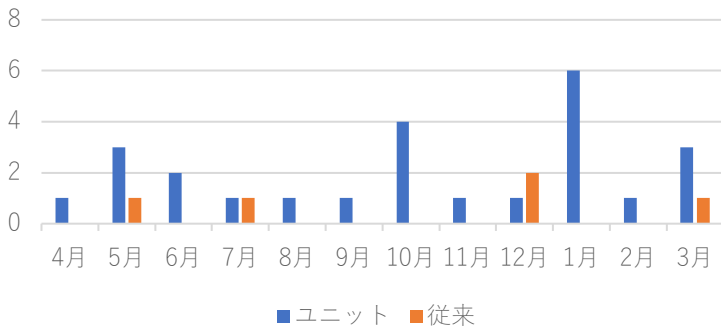


R5 年度実績		合計
ユニット (定員:90名)	延べ日数	31349
	稼働率	95.4%
従来 (定員:30名)	延べ日数	10609
	稼働率	96.8%
全体合計	稼働率	95.7%

■入退去状況

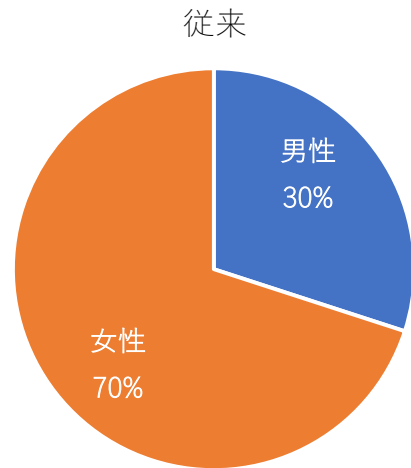
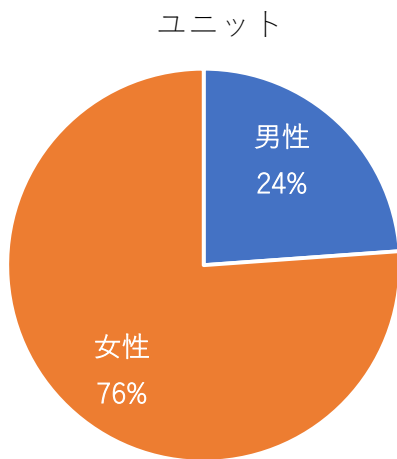
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
ユニット	入居	3名	4名	1名	1名	3名	0名
	退去	1名	3名	2名	1名	1名	1名
従来	入居	0名	0名	1名	0名	0名	1名
	退去	0名	1名	0名	1名	0名	0名
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
ユニット	入居	1名	4名	1名	1名	3名	4名
	退去	4名	1名	1名	6名	1名	3名
従来	入居	0名	0名	0名	2名	0名	0名
	退去	0名	0名	2名	0名	0名	1名

(参考) 退去者数推移

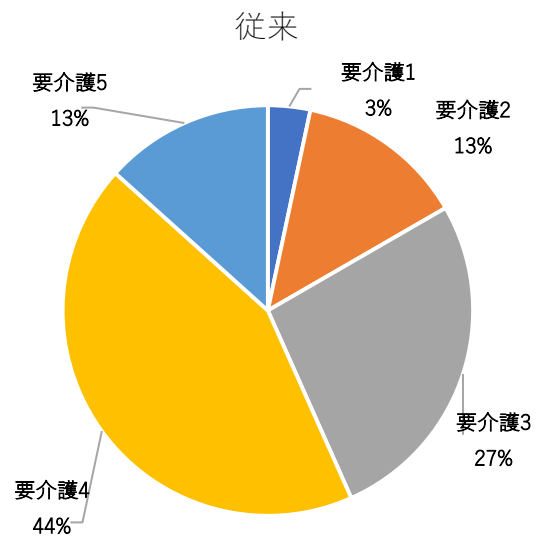
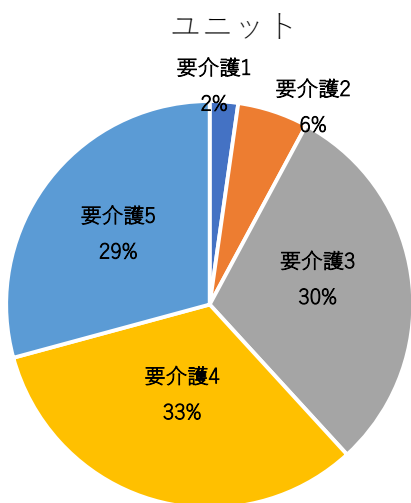


R5 年度入退去者		合計
ユニット	入居	26 名
	退去	25 名
従来	入居	4 名
	退去	5 名

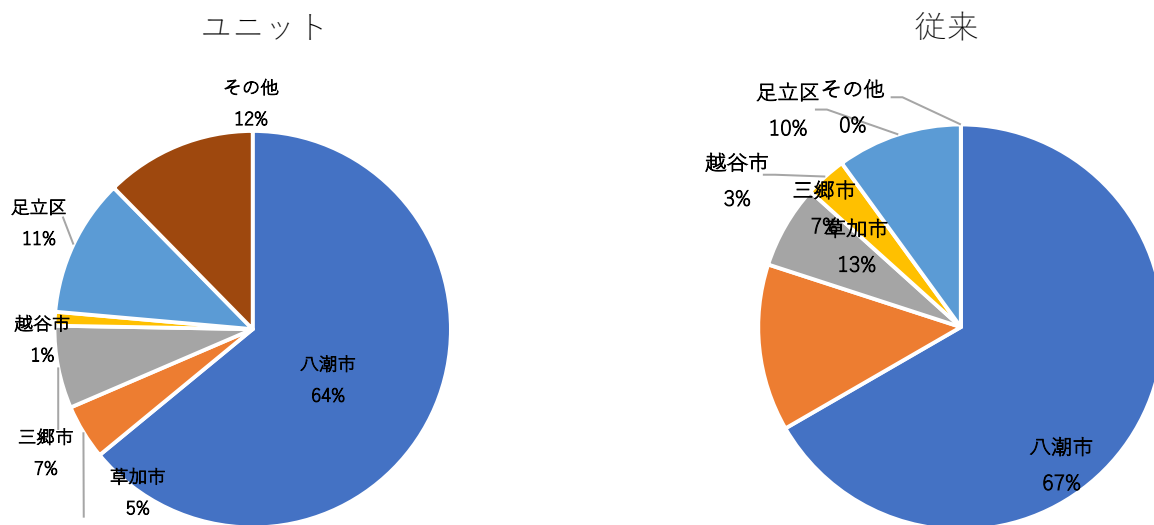
■ 入居者男女割合 (R6.3.31 現在)



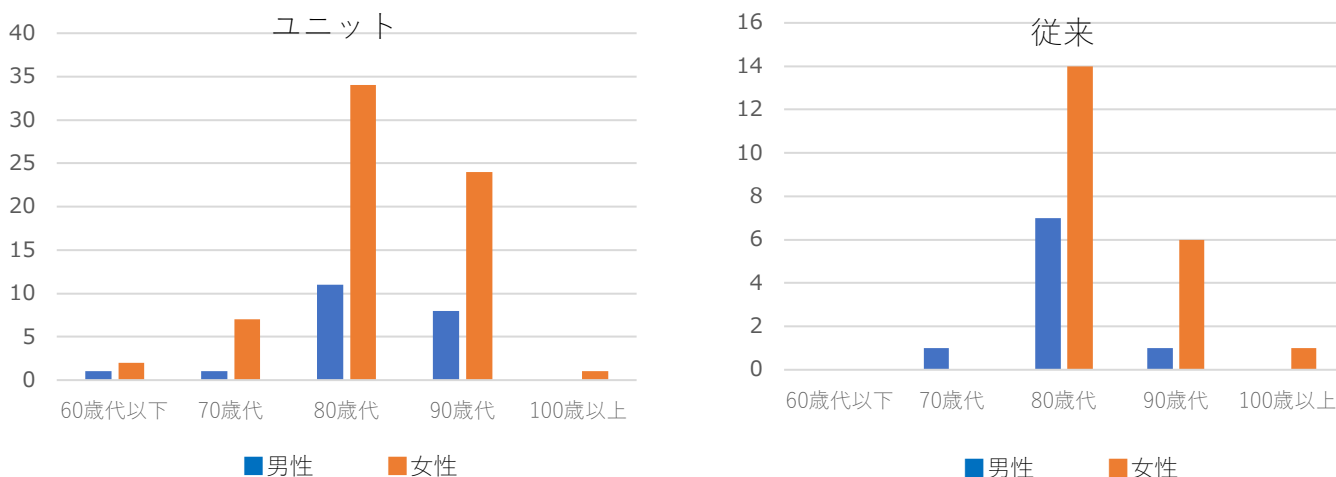
■ 入居者要介護割合 (R6.3.31 現在)



■保険者別入居者割合 (R6.3.31 現在)



■入居者男女年齢別状況 (R6.3.31 現在)



■総評

令和5年6月より、管理者の交代があり、八潮いこいの里の理念&理念達成のための目標作りから開始した。ユニットごとに話し合いをしてもらい、最終的には一人一人に投票をして理念&目標を設定した。並行する形で、人間関係の不和が各部署であるような状況があり、その調整からスタート。現在も大なり小なりの人間関係に関する調整が必要となっている。7月より予約制であるが、居室でのご家族面会を再開している。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザは単発で発生したことがあったが、クラスターになることはなかった。賞与の支給基準が不明確であったため、項目を見直し、評価基準を明確化、頑張りをそのまま金額に反映するシステム作りをした。また、夜勤帯にユニットの職員が休憩を取れていない実情があり、アンケートを実施、25名中18名、72%の職員が60分の勤務場所を離れての休憩が出来ていない、と回答されたこともあり、夜勤帯の休憩回しと不穏な入居者様への対応を考え、夜勤者を1名追加している。

地域との交わりを開始した。近隣にある保育園とハロウィンにて交流、小学校とは福祉の授業がある4年生と歌やプレゼントを双方でしあう、地域のフレイル状態の高齢者に施設での送迎や自力で来て頂き、カフェ、機能訓練指導員による体操や看護師による健康講和を行った。入居者様にも好評で、令和6年度は更に拡大をしていく予定。

受診の頻度が高く、付き添いの負担が大きい、看取りの死亡診断が夜間帯は難しい等、施設内で点滴が出来る、24時間365日臨時往診が可能なクリニックに変更をする準備を行った。同時に、薬の調剤ミスが多かった薬局についても変更の準備を行った。いずれも令和6年度よりスタートしている。職員の教育マニュアルがないなど、体制的な不備が多く、教育を専門に行うユニットの設定や食事、排泄等介護技術を細かく定め、既存の職員の技術をチェックし、統一したケアと、八潮いこいの里の介助方法を定めるプロジェクトを令和6年になってから始動している。

稼働率は年度全体では八潮いこいの里としては最高値であったが、令和5年末より入院や空室が目立ち、数値が低下している。居宅ケアマネや病院MSWに対し、素早いレスポンスと実調、ご家族に対し懇切丁寧な対応を目指し、入居、ショートステイの窓口の一本化をはかり、現在進行中となっている。今後、状況をみながら人員は調整する。施設では個別支援、個別ケアを目指している。入居者様、ご家族だけではなく、職員も感動的な体験が出来るよう、プログラムを組んでいきたい。そのためにはマンパワーが必要であるが、その原資となる稼働を強化し、通年98%を保てるように、体制を整えていきたい。

小規模多機能型居宅介護 横浜いこいの里

1. 職員状況

令和6年3月31日現在

	管理者	主任	リーダー	看護師	介護職員	運転手	介護支援専門員	合計
職員数	1	1	1	2	10	2	1	18

■雇用形態内訳

常勤職員：7名
非常勤職員：11名

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

■令和5年度職員雇用推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	採用者数	0名	1名	0名	2名	0名	0名
	退職者数	0名	0名	0名	1名	0名	0名
非常勤	採用者数	1名	0名	0名	0名	0名	0名
	退職者数	0名	0名	0名	0名	0名	1名
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	採用者数	0名	1名	0名	0名	0名	0名
	退職者数	0名	0名	0名	0名	0名	0名
非常勤	採用者数	0名	0名	0名	0名	0名	0名
	退職者数	0名	0名	0名	0名	0名	1名

		合計
常勤	採用者数	4名
	退職者数	1名
非常勤	採用者数	1名
	退職者数	1名
離職率	起算日 ※R6.3.31 ※常勤職員で計算	11.1%

■総評

本年度は、正職員4名入職、内1名は特定技能（インドネシア）が就労。2名は介護未経験者である。新人職員の指導等内部研修を主任指導のもと行う。13年間就労して頂いた非常勤の職員が離職。次年度も働きやすい職場作り、職員意見交換を前年度同様に実施していく予定である。

2. 会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	法人本部/管理者	12回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
運営推進会議	泉区役所・町内会長・民生委員・管理者、ケアマネ	6回/年	・活動報告 ・登録者の状況 ・地域への情報提供 ・運営方針
全体会議	全職員	24回/年	・研修参加の発表 ・モニタリング
サービス会議	主任/介護職員	12回/年	・系の役割が行われているかの確認

■スキルアップ研修の開催

4月	事故報告マニュアル	10月	バイタルチェックについて
5月	高齢者の生活と心理	11月	ユマニチュード入門
6月	施設における接遇	12月	レクリエーションの指導
7月	感染症対策	1月	リスクマネジメント
8月	身体拘束適正化	2月	薬の服薬確認の指導
9月	福祉施設における接遇とは何か	3月	アクシデント

■外部研修・セミナーの参加

4月	アクションプランの作成	10月	コロナ後における地域の取り組み方
5月		11月	
6月		12月	
7月	ターミナル期のACPを考える。	1月	感染症について
8月		2月	自立支援
9月		3月	生産性の向上

3. 行事・レク

4月	お花見お食事会（お花見お弁当）誕生日会 午後よりお花見ミニゲーム
5月	母の日、こどもの日 イベント 誕生日会 こいのぼりに見立てたおやつ
6月	父の日（プレゼント）ミニ喫茶店 誕生日会、
7月	七夕まつり、七夕デザート、誕生日会
8月	夏祭り屋台を想定開催。誕生日会
9月	敬老の日のお祝いの食事会をフロアーで開催。紅白饅頭提供。誕生日会
10月	フロアーにて運動会。おやつハロウィン仕様で提供。誕生日会
11月	誕生日会
12月	クリスマス会、「やーるーず」による三味線演奏会、誕生日会
1月	お正月、新年会 ミニ喫茶店開催 誕生日会
2月	節分（職員ドニ君鬼に変装）バレンタインデー 誕生日会
3月	雛祭り、誕生日会

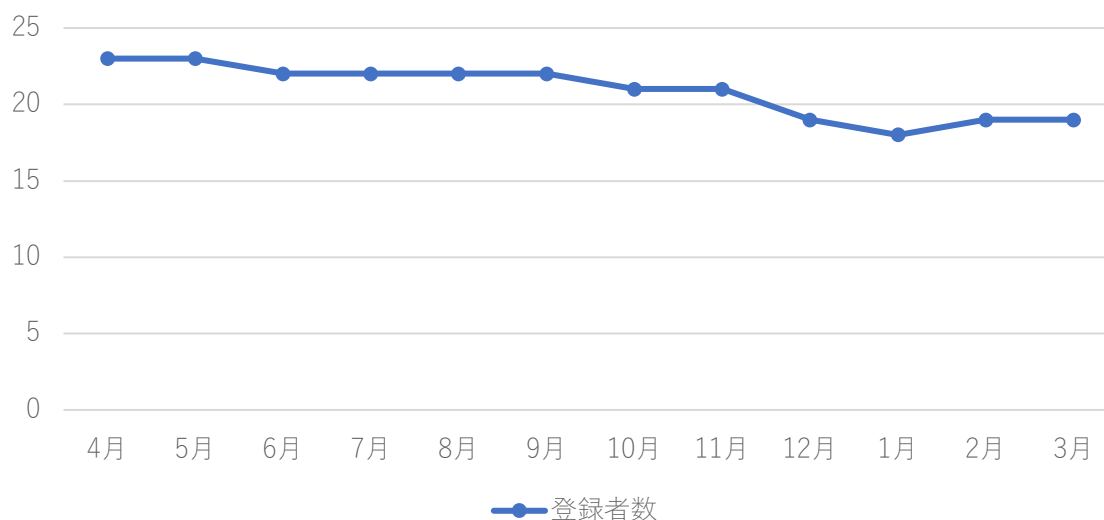
4. 実績報告

■登録状況について

1) 登録定員は 29 名 (内通い 17 名、泊り 8 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数	23	23	22	22	22	22	21	21	19	18	19	19
増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
減	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	0	0

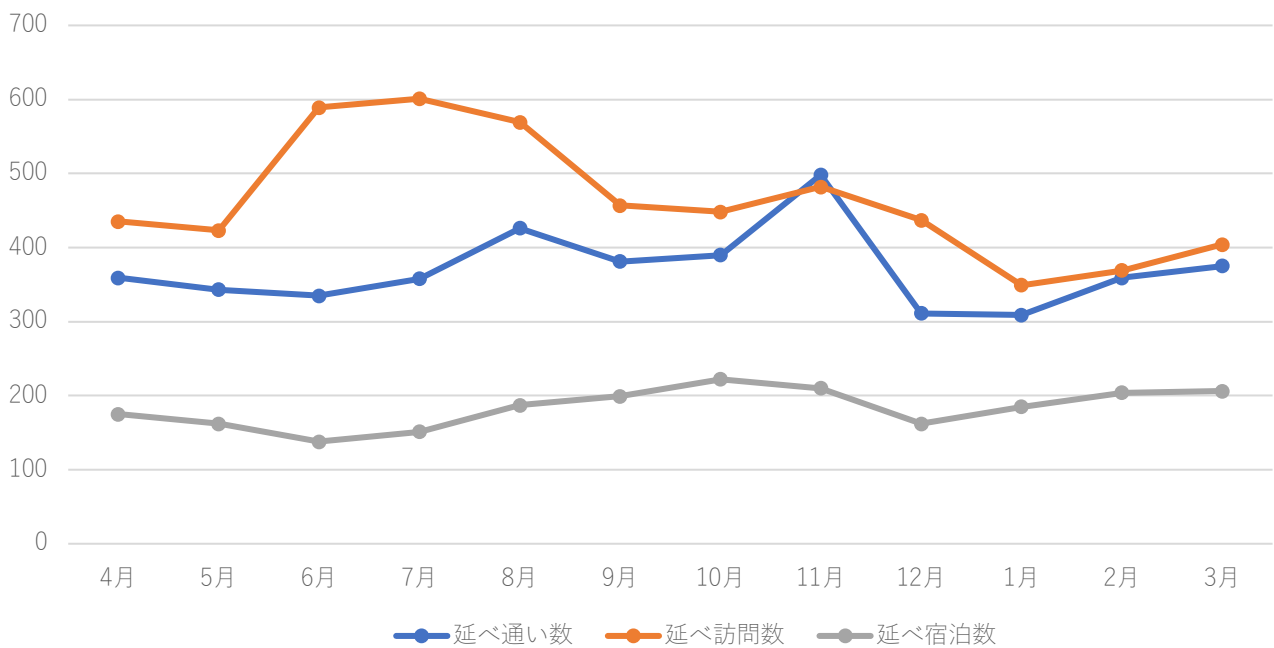
令和5年度 登録者数推移



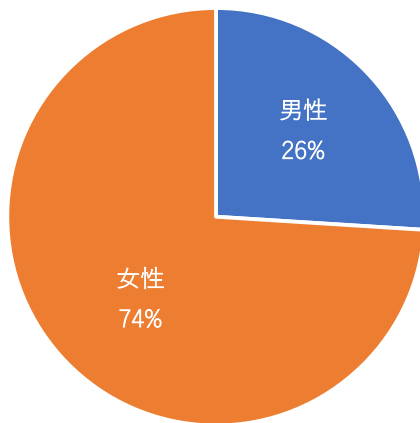
■サービス提供状況について

1) 各月別延サービス利用回数及び一日当たりの平均利用回数

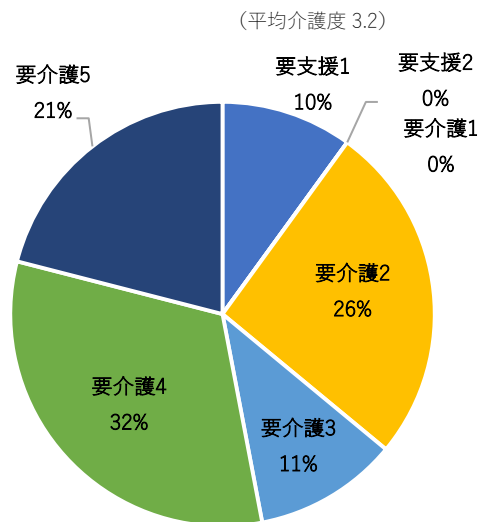
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ通い数	359	343	335	358	426	381	390	498	311	309	359	375
平均数/1日	12.0	11.0	11	12.0	14.0	13.0	13.0	16.0	10.0	10.0	10.0	12.0
延べ訪問数	435	423	589	601	569	457	448	482	437	349	369	404
平均数/1日	15.0	14.0	19.0	19.0	19.0	17.0	14.0	14.0	14.0	11.0	12.6	13.0
延べ宿泊数	175	162	138	151	187	199	222	210	162	185	204	206
平均数/1日	6.0	5.0	4.0	5.0	6.0	7.0	7.0	7.0	5.0	6.0	7.3	6.6



■入居者男女割合



■入居者要介護割合



■総評

本年度登録者数は、営業顧問による営業強化もあり4月～11月は平均22名を確保することが出来た。しかし、12月～3月は特養&老健入所が重なり平均19名の登録者となってしまった。次年度では、営業のみならず職員も含め話し合いを行い、横浜いこいの里のアピールポイントを打ち出し、そこに向かい実行していく。そして営業の更なる強化、職員の意識改革を実行していく。

本年度5月よりコロナウイルス感染症が第5類に移行してからも、感染症対策は利用者様、ご家族様の理解を得ながら職員への指導も怠らず継続した。職員や利用者様が陽性となったが、クラスターになることはなかった。感染症対策は勿論の事職員の内部研修、ミーティング、加えて営業顧問・管理者・ケアマネ・主任・リーダーによる5者会議を開催。新人職員の指導の強化等提案する。横

浜いこいの里の認知度がまだまだ低い事、職員の意識改革の為、5者会議で課題としてあげミーティングにかけ話し合い、地域への認知度をあげより多くの方に知ってもらうよう送迎車にポスターを貼った。また、職員によるポスティングの実施。地域との関わりを増やし、ますます利用者様の楽しみが増え、横浜いこいの里で過ごしていただけるようにボランティアさんによる演奏会の開催など実施。次年度もより一層利用者様に満足して頂く為努力をしていく。

特別養護老人ホーム 若葉いこいの里

1. 職員状況

(R6.3.31 現在)

	施設長	事務長	介護支援専門	生活相談員	機能訓練指導	管理栄養士	看護師	介護職	事務員	用務員	宿直	清掃員	合計
職員数	1	0	1	4	1	2	5	52	3	2	0	2	73

※職員数は非常勤（パート職員）を含む

令和5年度職員雇用推移 ※R6.3.31 職員在籍数⇒67名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	採用者数	7	0	1	1	2	3
	退職者数	5	0	0	1	0	4
非常勤	採用者数	0	1	1	1	0	0
	退職者数	0	0	0	1	1	0
		10月	10月	11月	12月	1月	2月
常勤	採用者数	2	1	3	1	0	0
	退職者数	2	0	2	2	1	2
非常勤	採用者数	1	2	0	0	1	0
	退職者数	1	0	0	0	0	1

総評

3年が経ちスタッフ間の問題はあるものの、施設全体は安定してきたと思う。職員の定着と確保は厳しい状況ではあるが、離職率は減少傾向にある。職員の確保に関しては求人媒体での効果はなく、派遣や紹介会社に頼るしかない中、経験がある外国人を積極的に採用し人員の確保に努めている。又、ケア技術や記録の指導、外国人向けのマニュアル作成も継続して取り組んでいる。課長・主任においてはユニットが抱えている問題や不満・悩みの相談窓口となり職員の気持ちに寄り添いながら不満の解消やストレス軽減に取り組みを行っている。リーダーの退職による不在のユニットがありスタッフへの負担や不安を与えてしまった。それにより職場全体でフォローをしている状況又少ない人員でもユニット業務が回せる体制作り等ユニットの目標を決め、それに向けて自律的に行動できる人財の育成も今後の課題となっている。

これからも、貴重な人財に楽しく笑顔で就業してもらえるように環境整備を整えつつスタッフ向けの娯楽等を取り入れモチベーションの向上に努めていく。

		合計
常勤	採用者数	21
	退職者数	19
非常勤	採用者数	7
	退職者数	4
離職率	起算日 (R5.3.31 現在) ※常勤職員で計算	36.5%

2. 会議・委員会・研修

会議名	参加者	実施状況	内容
経営会議	本部職員/施設長/ 役職者	12回/年	・施設運営に関する業務進捗・結果等の報告 ・検討事項の意思決定 ・運営に関する問題事項の改善論
運営会議	役職者/主任	12回/年	・今後の施設運営に関する議案、検討 ・新入職者OJT導入
リーダー会議	役職者/ユニット リーダー	12回/年	・役職者からの連絡事項 ・ディスカッション ・各専門職からの連絡事項 ・経営会議決定事項の周知
ユニット会議	ユニットリーダー /介護職員	12回/年	・ユニットの問題定義・解決案 ・ユニット推進のための勉強会 ・24時間シートの作成
給食会議	役職者/ユニット リーダー	12回/年	・サンワフーズの責任者を交えた問題定義・解決案 ・介護現場との連携確認
医務会議	役職者/看護職員	12回/年	・医務の中での問題定義・解決案 ・業務改善策の模索

委員会	実施状況	内容
入所判定委員会	適宜/年	サービスを受ける必要性が高いと認められる者を優先的に入居させるために、入居決定過程の透明性・公平性を確保し判定を行う。
事故防止・身体拘束 委員会	12回/年	事故報告、ヒヤリの件数周知。再発防止のため事例検討会を行う。身体拘束の種類や事例検討を含めた勉強会を行う。
安全衛生委員会	12回/年	職員健康管理・就労環境に関する事柄・施設整備に関する告
感染・褥瘡・看取り 予防委員会	12回/年 +随時	褥瘡ができるまでの原因を探り、ブレーデンスケールを行う。 感染症及び食中毒予防蔓延防止のために研修や勉強会を行う。 コロナの感染対策のため、随時開催をした
ケア向上委員会	12回/年	入居者へのケアを見直し、検討・実践行う。
行事委員会	12回/年	施設全体行事や、クラブ活動の立案・実践を行う。

■スキルアップ研修の開催

4月	介護保険について
5月	おむつ研修
6月	口腔ケア
7月	感染症
8月	緊急時対応・看取り研修
9月	感染対策・予防

10月	食中毒について
11月	緊急時対応
12月	感染症
1月	身体拘束・虐待防止
2月	認知症・接遇マナー・ハラスメント・倫理・法令遵守
3月	身体拘束・虐待防止

■外部研修・セミナーへの参加

4月	
5月	
6月	
7月	ケアマネジメント
8月	NLP コミュニケーション スーパービジョン
9月	実務者研修（5名） キャリアアップ研修

10月	初任者研修（2名）
11月	家族支援 カスタマーハラスメント
12月	
1月	ユニットケア施設管理者研修
2月	
3月	不適切ケアと身体拘束防止

3. 行事・レク

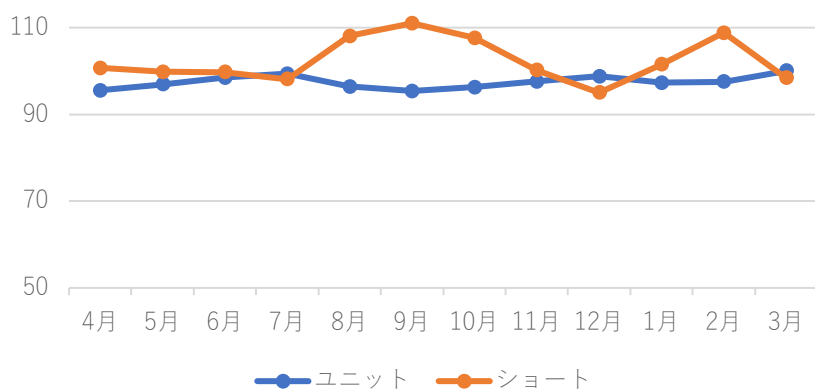
4月	春のパン祭り
5月	こどもの日 ラーメンイベント・新茶体験
6月	納涼祭・ラーメンイベント・エコキャップ回収
7月	七夕 風鈴作り・スイカ割り
8月	ベルマーク収集活動・貼り絵・流しそうめん
9月	敬老会
10月	貼り絵・焼き芋祭り
11月	ハロウィンイベント・習字クラブ・秋のパン祭り
12月	クリスマス・習字クラブ
1月	お正月イベント・年賀状作り・刺身イベント・習字クラブ
2月	節分イベント・映画クラブ・わくわくバレンタイン・刺身イベント・習字
3月	ひな祭り・春のお茶会・映画クラブ・刺身イベント・習字クラブ

4. 実績報告

■稼働率推移・・・安定した経営を目指すため、年間常時 95%以上

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
特養 (定員:80名)	延べ日数	2292	2402	2364	2466	2390	2290
	稼働率	95.5%	96.9%	98.5%	99.4%	96.4%	95.4%
ショート (定員:20名)	延べ日数	604	619	598	608	670	666
	稼働率	100.7%	99.8%	99.7%	98.1%	108.1%	111.0%
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養 (定員:80名)	延べ日数	2387	2343	2451	2414	2262	2480
	稼働率	96.3%	97.6%	98.8%	97.3%	97.5%	100.0%
ショート (定員:20名)	延べ日数	667	601	589	629	631	610
	稼働率	107.6%	100.2%	95.0%	101.5%	108.8%	98.4%

(参考) 稼働率推移

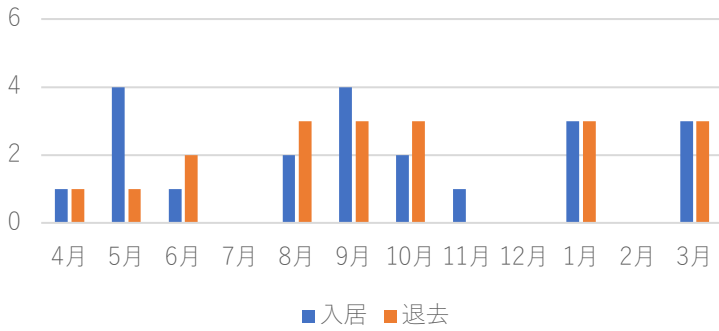


R5年度実績		合計
特養 (定員:80名)	延べ日数	28541
	稼働率	97.5%
ショート (定員:20名)	延べ日数	7492
	稼働率	102.3%

■入退去状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
特養	入居	1	4	1	0	2	4
	退去	1	1	2	0	3	3
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
特養	入居	2	1	0	3	0	3
	退去	3	0	0	3	0	3

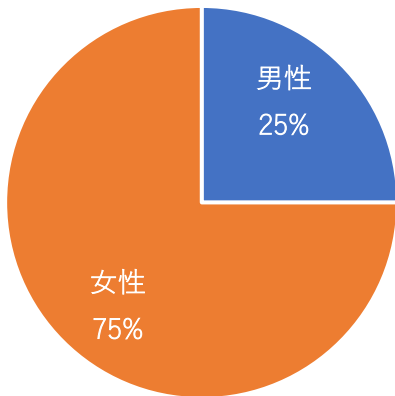
(参考) 入退去者数推移



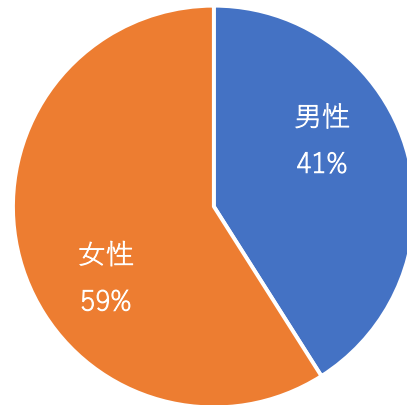
R5 年度入退去者		合計
特養	入居	21
	退去	19

■入居者（利用者）男女割合（R6.3.31 現在）

ユニット

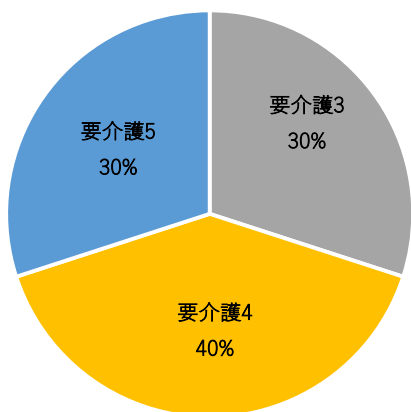


ショート

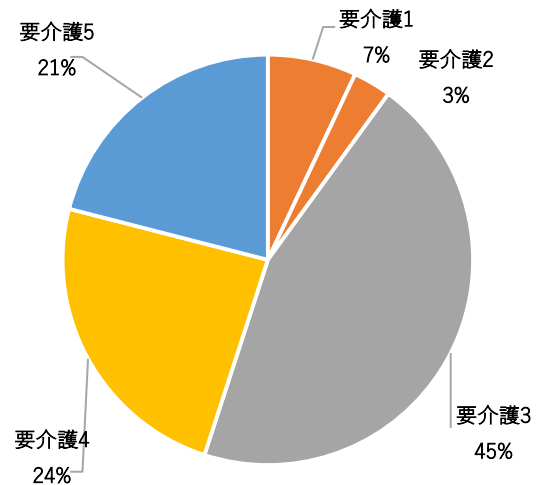


■入居者要介護割合（R6.3.31 現在）

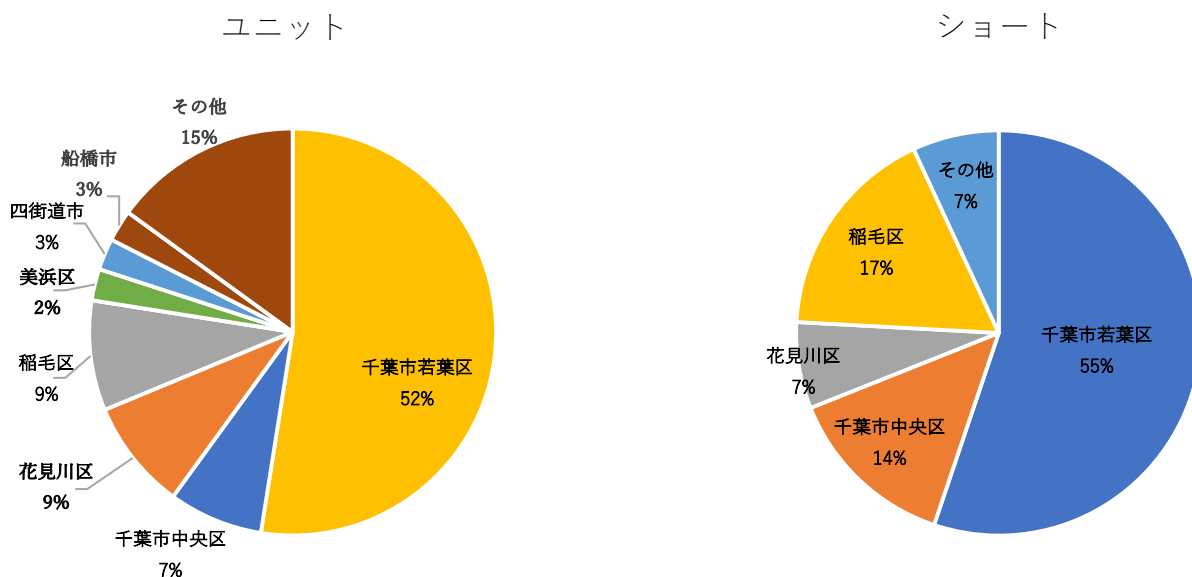
ユニット



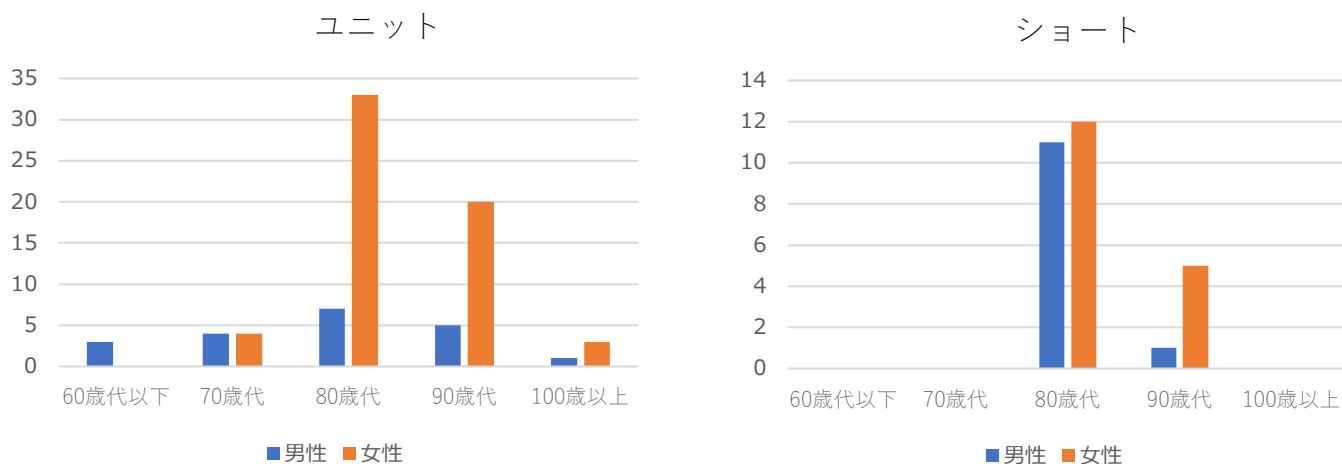
ショート



■保険者別入居者（利用者）割合（R6.3.31 現在）



■入居者（利用者）男女年齢別状況（R6.3.31 現在）



■総評

令和5年8月末から12月にかけてクラスターが発生し全ユニットに蔓延した。施設内での感染予防対策は継続していたが5類になりマスク着用の義務化がなくなった事もあるのか職員の意識の低下も原因となったと感じている。今回のクラスターは職員の罹患により欠勤が多くユニットの負担は大きかったが同法人の横浜いこいの里からの応援もあって約2か月と長い期間だったが重篤者が出る事なく終息する事が出来た。クラスターが発生した場合、又その前の状態で予防に繋げるように努めたい。

ご家族からの要望も多く、コロナも緩和した事で感染対策を行い時間制限などご家族のご理解とご協力の下11月から居室面会・外出を開始した。ご家族に施設での生活を見て頂く事でスタッフのケアに対する意識がより一層高まったのではないかと感じている。又感謝の言葉をいただいたりする事も多くご家族との信頼関係が生まれてきたと感じている。

5年度の特養平均稼働率は平均95%以上を維持する事が出来た。近隣には新規オープン施設も増えてきており、入居者の取り合いも懸念されたが相談員の営業の取り組み、ユニットの協力体制の向上によりスムーズに入所に繋げる事ができた。またショートステイにおいては稼働100%を超える月が多くあ

りご家族や居宅との調整を行いスムーズに利用できた。令和6年5月には10床増床し1日には10名入所する事ができたのも相談員の頑張りが評価出来る。

今年もコロナに振り回された年だったが、それも踏まえ委員会・研修を通して意識定着に努めていきたい。来年度も看取りの強化・より一層のケアの質の向上への取り組みを継続し稼働を安定させていきたい。又地域との交流を深め若葉いこいの里のアピールを行っていく。